

先 人の宝を未来へ 文化財防火デーに防火パトロール

昭和24年1月26日、現存する世界最古の木造建築である法隆寺金堂が火災により焼損しました。この出来事を教訓に、毎年1月26日は「文化財防火デー」と定められ、全国で文化財を火災などから守る取り組みが行われています。

町でも同日、消防団や広域消防本部、文化財保護審議会の協力のもと、富山馬頭観音堂および旧有路家住宅で防火パトロールを実施しました。文化財は先人から受け継いだかけがえのない宝です。地域全体で守り、未来へ大切に伝えていきましょう。



元 気に過ごす1年を願って 団子刺しが行われました

大堀保育所の児童と大堀小学校1、2年生が、1月14日と15日の2日間にわたり、伝統行事の「団子刺し」を行いました。当日は、白川端の「遊笑会（ゆうしょうかい）」と大堀地域の「畑楽会（はたらくかい）」、さらには「風っ子応援団」の皆さんがサポートに入り、子どもたちは地域の方々に教わりながら作業に取り組みました。餅や団子を巾着や繭玉に見立てて飾り下げ、色とりどりの団子をミズキの木に刺し、カラフルな団子の木を完成させました。小正月の伝統文化に触れながら、今年一年の無病息災と五穀豊穡を願いました。



人権を守り続けた功績に感謝 人権擁護委員へ法務大臣感謝状



人権擁護委員の感謝状伝達式が行われ、令和7年12月31日付で退任された寺崎靖利さん（志茂）、菊池ゆかりさん（向町二）に、法務大臣から感謝状が贈られました。寺崎さんは2期4年、菊池さんは2期6年にわたり、人権相談への対応や啓発活動に尽力されました。町内では人権擁護委員が、身近な相談窓口として人権相談を受け付けるほか、「人権の花」や「人権教室」などを通じ、思いやりと尊重の心を育む活動を続けています。これまでの長年のご功績に深く感謝するとともに、引き続き地域全体で人権を大切にすまちなちづくりを進めていきます。

誰もが安心して暮らせる地域づくりへ町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。



人 権を考える 書写展のひととき

山形地方法務局と新庄人権擁護委員協議会では、次代を担う小学生が「親切」や「思いやり」など人権をテーマにした書写に取り組むことを通じて、人権尊重の大切さや必要性への理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けることを目的に、人権書写展を実施しています。

町では、町内の小学5、6年生が心を込めて書き上げた人権に関わる作品が中央公民館に展示され、来場者は子どもたちの思いに触れ、人権について考える機会となりました。

地域の安全を見守り続けて 緑十字銀章受章

交通安全協会最上支部の副支部長である佐藤良栄さんが、多年にわたり地域の交通安全活動に尽力してこられた功績が高く評価され、警察庁長官と全日本交通安全協会会長の連名による交通栄誉章「緑十字銀章」を受章されました。また、長年にわたり活動を支え、最上町交通安全母の会会長を務め、共に活動してこられた妻のとめ子さんには、全日本交通安全協会会長から感謝状が贈呈されました。

1月28日には、お二人が町長を訪問し、受章の報告を行いました。町長からは、「長年にわたり町の交通安全のためにご尽力いただき、心から感謝申し上げます。今後も交通事故防止に向けた取り組みにご協力をお願いします」と、ねぎらいと感謝の言葉が述べられました。地域に根ざした地道な活動を長年にわたり続けてこられたご功績は、町民一人ひとりの安全な暮らしを支える大きな力となっています。この度の受賞誠にありがとうございます。



町 内産アスパラガスの新たな可能性を提案

1月16日、道の駅もがみ「あつつえ」にて、農林大学校による地域協働研究の発表・試食会が開催されました。令和4年度から、農林大学校農産加工経営学科が「最上町産アスパラガス」をテーマに加工品研究に取り組み、学生は町内直売所の見学やアスパラガス栽培の背景を学びながら試作品開発を進めてきました。

今年度は、トマトパスタソースやふりかけ、コロケ、プリンなどが振る舞われ、参加者からは商品化を期待する前向きな意見や新しい発想への関心の声が寄せられました。



地 元の声援を力に 佐藤穂さんが県スキー選手権回転で優勝

1月16日、赤倉温泉スキー場で開催された第97回山形県スキー選手権大会回転競技において、町出身の佐藤穂さん（向町）が見事優勝を果たしました。大会では終始安定した滑りで実力を発揮し、ライバルたちを抑え頂点に立ちました。佐藤さんは「地元の方々に優勝という結果で恩返しできて素直にうれしい」と話し、支えてくれた家族や地域への感謝を口にしました。今後のさらなるご活躍をご期待申し上げます。

